



会社説明会資料

 日本ビューホテル株式会社 (証券コード: 6097)

2018年9月12日

1	事業の概要	2
2	ホテルマーケットの魅力・成長性	8
3	日本ビューホテルの強み	10
4	経営ビジョン	14
5	株主還元	29

1 事業の概要

2 ホテルマーケットの魅力・成長性

3 日本ビューホテルの強み

4 今後の経営ビジョン

5 株主還元

1. 事業の概要 ①沿革

創業
那須の開発

事業の拡大

経営の再建

新たな成長へ

1953年

那須観光株式会社設立

1960年

那須ビューホテル開業

1964年

那須興業株式会社設立

1965年りんどう湖ファミリー 牧場
(現 那須りんどう湖 LAKE
VIEW) 営業開始**1966年**日本ビューホテル株式会社
に商号変更**1968年**

伊良湖ビューホテル開業

1974年

成田ビューホテル開業

1977年ホテルビューパレス開業
日本ビューホテル事業
株式会社設立**1983年**

高崎ビューホテル開業

1984年

秋田ビューホテル開業

1985年

浅草ビューホテル開業

2001年

民事再生手続を申立

2005年

民事再生手続終結決定

2007年エムシーピースリー
投資事業有限責任組合
による 出資**2012年3月**

再生債務を期限前完済

2012年 5月

浅草ビューホテルレストラン 「武蔵」オープン

2014年 7月東京証券取引所 市場第二部上場
清流の宿 おくたま路開業**2015年 3月**

中期経営計画 策定 (2016年4月期～2018年4月期)

2015年 7月

東京証券取引所 市場第一部指定

2015年10月

ヒューリック株式会社との資本・業務提携契約締結

2015年11月

両国ビューホテル開業

2016年7月

那須りんどう湖 LAKE VIEW 那須の恵み Mekke! 開業

2017年 1月

第2次中期経営計画 策定 (2018年4月期～2021年4月期)

2017年5月

札幌ビューホテル 大通公園 開業

2017年12月

浅草ビューホテル 1階ロビーフロア全面リニューアルオープン

2018年 5月

大阪ビューホテル 本町 開業

会社名	日本ビューホテル株式会社	
所在地	東京都台東区西浅草3-17-1	
設立	1953年5月4日	
代表者	代表取締役社長 遠藤 由明	
資本金	2,791百万円	
決算期	4月30日	
市場	東京証券取引所市場第一部	
従業員数	連結 980名、単体 803名 (嘱託・パート・アルバイトを除く)	
大株主 (持株比率)	ビューリック株式会社	26.83%
	株式会社立飛ホールディングス	5.94%
	名古屋鉄道株式会社	5.09%
	日本ビューホテルグループ 社員持株会	2.33%
	日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1.85%
※持株比率は発行済株式総数より自己株式数 (297,600株)を控除して計算しています。		

連結業績・資産	2017年4月期	2018年4月期
売上高	20,179百万円	21,294百万円
営業利益	1,362百万円	617百万円
総資産	23,135百万円	31,046百万円
純資産	12,575百万円	12,652百万円



浅草ビューホテルを旗艦ホテルとするホテル事業を中核に、宿泊・観光事業グループを形成

ホテル事業

直営によるVIEW HOTELブランドを展開するグループの中核事業

- コンセプトは、「ホスピタリティ」、「地域密着」、「ビュー(景色・ロケーション)」、「進化と変化」
- 「VIEW HOTEL」ブランドの直営ホテルを経営
- 浅草ビューホテルが旗艦ホテルとしてグループ業績を牽引
- 観光立国政策を追い風に、スカイツリーや日本文化に溢れる観光資源が優位性を拡大
- シティホテルとリゾートホテルを有し、宿泊、料飲、宴会・婚礼の各部門を営業、スパや温泉などで施設を充実



施設運営事業

低い事業リスクで宿泊施設をチェーン展開

- 「VIEW HOTEL」ブランド以外のホテルや旅館の経営の他、ホテルや旅館、保養所の運営業務受託、運営指導や「VIEW HOTEL」ブランドによるFC契約
- 投資リスクを抑えたチェーン展開



遊園地事業

認知度の高い那須りんどう湖 LAKE VIEW

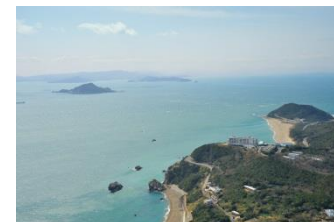
- 栃木県那須高原にレジャー施設 那須りんどう湖 LAKE VIEW
- 広大な自然と那須高原唯一の湖を有し、動物、乗物、アトラクション、レストランや多彩なイベントを運営
- 那須高原を代表するレジャー施設として高い認知度



ビューホテルとは・・・事業展開のバックボーン

形式にとらわれず温かみと親しみのあるサービス

立地条件や市場に即した営業戦略による利益創出



多様な販売チャネルを駆使した多様な顧客層からの集客力



“食のVIEW”、“味のVIEW”へのこだわり

国内に19ホテル(提携含む)を運営(2018年9月現在)

ホテル事業

 直営 ① 浅草ビューホテル	 直営 ② 成田ビューホテル	 直営 ③ 秋田ビューホテル	 直営 ④ 伊良湖ビューホテル
 直営 ⑦ 大阪ビューホテル 本町	 直営 ⑤ 両国ビューホテル	 直営 ⑥ 札幌ビューホテル 大通公園	 直営 ⑨ 那須高原ホテルビューパレス
<p>大阪ビューホテル 本町 2018年 5月22日オープン</p>			
		 提携 ⑬ 郡山ビューホテル	 提携 ⑭ 郡山ビューホテルアネックス

施設運営事業

※下記の他、旅館1施設、保養所1施設の運営業務を受託

 直営 ⑧ おくとま路	 直営 ⑩ ぎょうけい館	 直営 ⑪ ホテルプラザ菜の花	 直営 ⑫ ホテルグリーンパール那須
 提携 ⑮ 平ビューホテル	 提携 ⑯ 岡山ビューホテル	 提携 ⑰ ホテルグランビュー沖縄	 提携 ⑱ ホテルグランビューガーデン沖縄
 提携 ⑲ ホテルグランビュー石垣			

1 事業の概要

2 **ホテルマーケットの魅力・成長性**

3 日本ビューホテルの強み

4 経営ビジョン

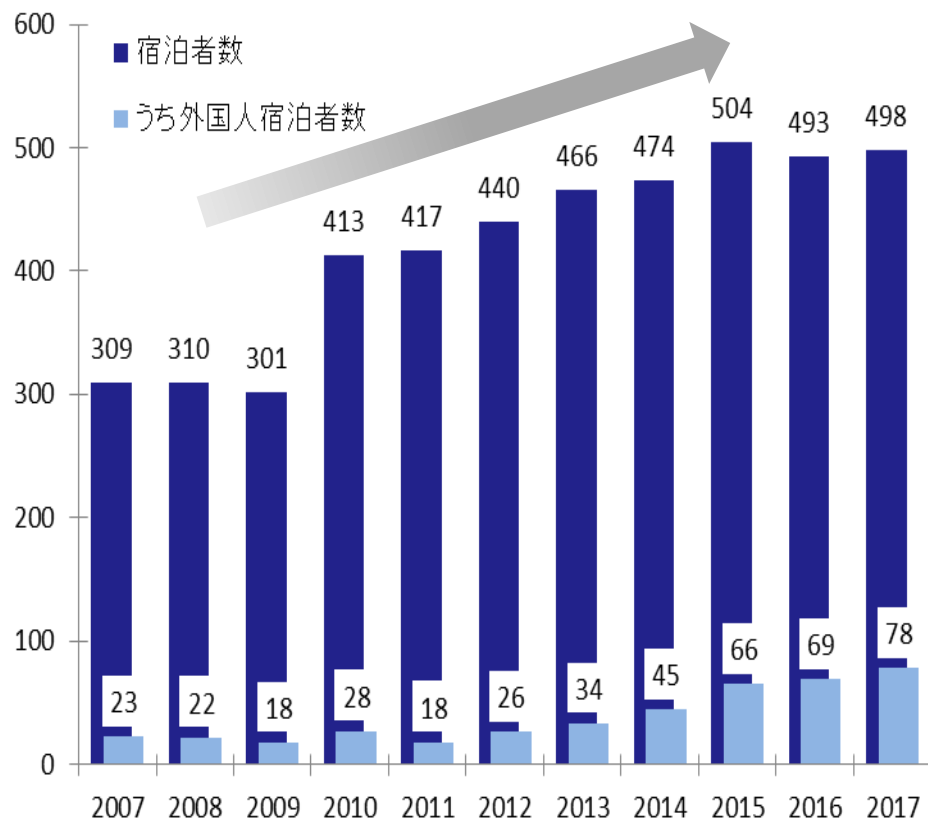
5 株主還元

国内宿泊マーケットは拡大基調を継続

日本政府による観光産業へのバックアップ

- 国内宿泊マーケットは東日本震災の影響により一時伸び悩んだものの、拡大基調を継続
- 国民のレジャー・余暇生活への重点意識は高い水準で推移（参考：内閣府官房長官広報室「国民生活に関する世論調査」）
- 政府のビジット・ジャパン・キャンペーンにより、訪日外国人旅行者は増加、今後も政府による観光立国に向けた積極的な取り組みが期待される
- 政府は2030年の新目標として従来の3,000万人から6,000万人へと倍増を決めた。2017年訪日外国人は2,800万人を突破し、過去最高を更新

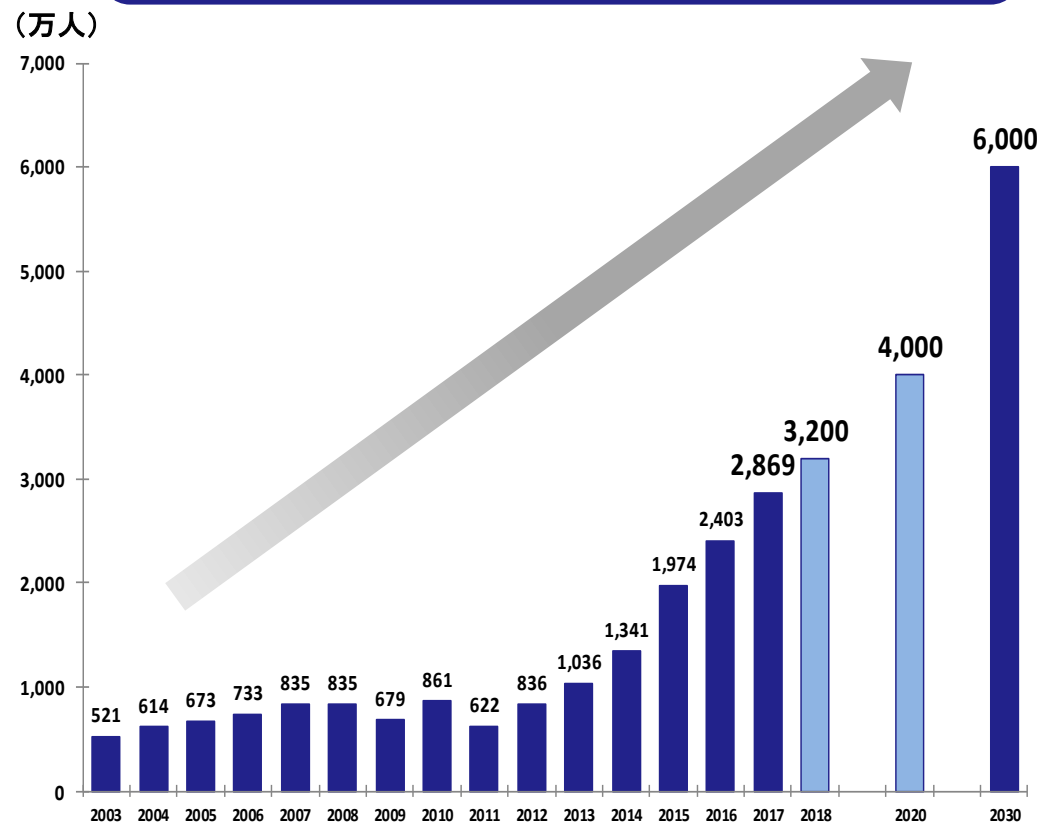
年別延べ宿泊者数の推移



出所：観光庁『宿泊旅行統計調査』より作成、2017年は速報値

2007年から2009年は従業者数10人以上の宿泊施設、2010年以降はすべての宿泊施設の延べ宿泊者数

訪日外国人旅行者数実績・目標



出所：観光庁『訪日外国人消費動向調査』、『観光立国推進基本計画』より作成

2017年は日本政府観光局(JNTO)推計値、2018年はJTB見通し

1 事業の概要

2 ホテルマーケットの魅力・成長性

3 **日本ビューホテルの強み**

4 経営ビジョン

5 株主還元

浅草エリアの高い集客力

- 多彩な観光資源に恵まれている浅草
- 東京都の中でも、浅草は訪問先、宿泊先、満足した場所において、非常に高い評価を受けている

浅草の主な年間イベント

1月	2月	3月	4月
初詣	節分	金竜の舞	墨田公園桜まつり
5月	6月	7月	8月
三社祭	お富士さんの植木市	ほおずき市 隅田川花火大会	浅草サンバカーニバル
9月	10月	11月	12月
浅草燈籠会	浅草菊花展	時代祭り 酉の市	除夜の鐘



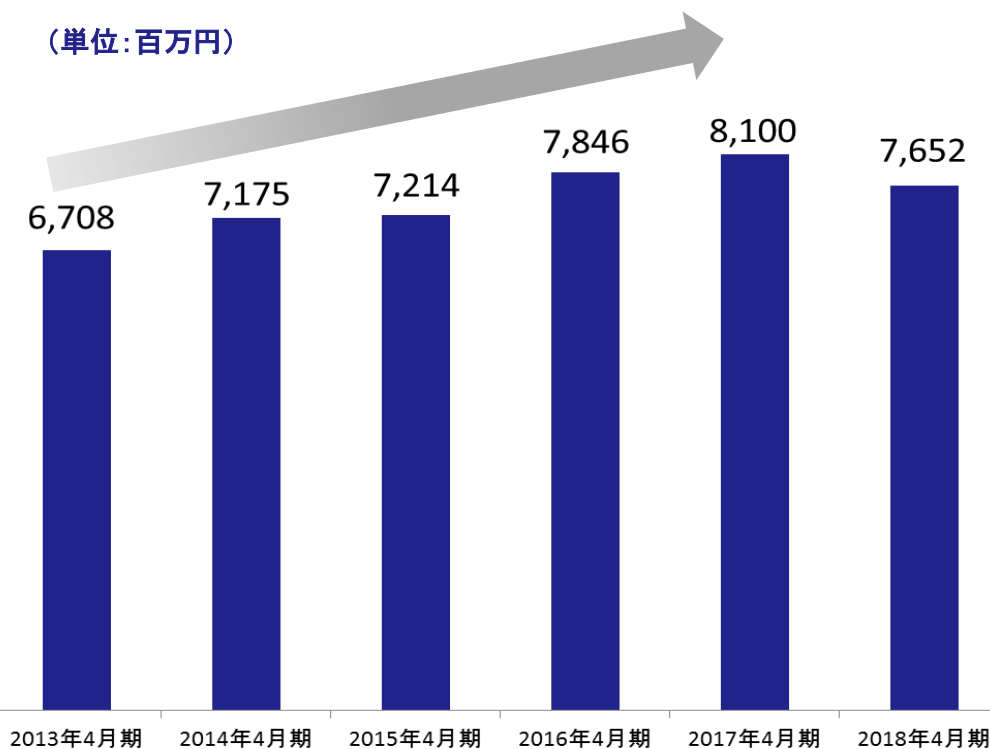
訪日外国人アンケート

訪問先			満足した場所		
順位	都市	割合	順位	都市	割合
1	新宿・大久保	56.9%	1	新宿・大久保	12.7%
2	浅草	48.2%	2	浅草	11.7%
3	銀座	48.1%	3	銀座	11.6%

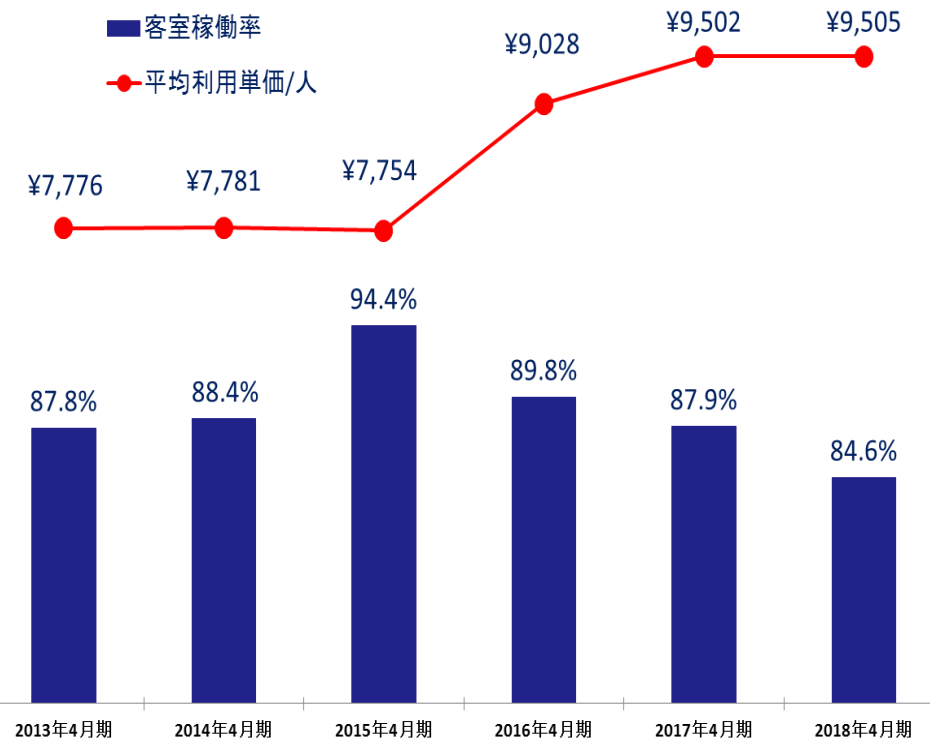
出所：東京都産業労働局観光部企画課『国別外国人旅行者行動特性調査』より作成

浅草ビューホテル売上高の推移

(単位:百万円)



浅草ビューホテル 客室稼働率・利用単価



1階ロビーフロア改装工事に伴う22日間全館クローズ期間により販売が不可能だった客室も含んだ総客室数を分母として算出しております

- 着実に増収基調で推移、2018年4月期は改装工事に伴う22日間の全館クローズの影響もあり減収
- 客室はレベニューマネジメントの精度向上により高い稼働率を維持しながら販売単価の上昇を継続
- ADRは2014年4月期15,843円から2018年4月期20,887円に上昇(2017年4月期は20,557円)

(注)・レベニューマネジメント/需要動向予測に基づき、1日の売上の最大化を目的として販売価格を決定する手法
 ・ADR/1室当たりの売上金額

財務指標

(2018年4月30日現在)

自己資本比率 (%)		40.8
有利子負債	社債・借入金 (百万円)	9,808
	リース負債・割賦未払金 (百万円)	5,374
純資産 (百万円)		12,652
有利子負債 / 純資産倍率		1.20

- 2018年4月期末時点で、資産合計310.4億円、現預金27.4億円、有利子負債151.8億円、純資産126.5億円
- リース負債には、札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約に係るリース債務51億円を含みます

→ 今後の新規ホテルの展開や改装などの設備投資に向けた
安全性の高い財務基盤

1 事業の概要

2 ホテルマーケットの魅力・成長性

3 日本ビューホテルの強み

4 **経営ビジョン**

5 株主還元

VIEW HOTELS Mission

- Sustainable Growth -

第2次中期経営計画の位置付け

当社グループのミッションを達成するため、下記のコンセプトに基づき、長期持続的な成長を目指していく上での2018年/4月期から4ヶ年の基本戦略を示す経営計画

ビューホテルグループのコンセプト

ホスピタリティ あたたかい“おもてなし”

- 『こだわりの料理』と『親しみのある、あたたかいサービス』

地域密着 地域を愛し、地域に愛されるホテル

- 各地域において高いブランド力・知名度を有する。
- 地域限定プランの提供や地域貢献活動等、地域社会と積極的に交流を深め、高い信頼関係を構築。

ビュー 景色・ロケーション

- 施設からの景色をサービスの一つとして位置付け。
- 観光資源や観光・ビジネスの拠点としての立地を重視した展開。

進化と変化 マーケットや社会への対応

- マーケット、顧客ニーズ、時代や社会に即した経営。施設・サービス・商品の進化と変化。

第2次中期経営計画の骨子

1. 更なる安全・安心の追求

- 大型機械・設備の計画的更新
- 成田ビューホテル → 東館の耐震補強工事

2. 各事業所の現状・市場・将来性の再検討

- 高崎ビューホテル → 2017年末で営業終了
- 秋田ビューホテル → 資産価値の見直し
- 浅草ビューホテル → ロビーフロア改装

3. 大都市圏に賃借での展開

- 両国、札幌、大阪の開業、および今後の新規事業展開

4. 株主還元

- 安定配当と自己株取得

長期的な視野に立った設備投資戦略の方針

安全・安心への取組み

資産価値の維持・向上

収益性・投資効率の向上

- エンジニアリングレポート(ER)に基づく設備投資(防火・防災・防犯・衛生)
- 戦略的な施設の改装
- 将来的な成長性に鑑みた拠点編成

設備投資計画の概要とEBITDAの計画

	投資予定額(単位:億円)					主な項目
	2018/4	2019/4	2020/4	2021/4	合計	
ER対応	18	16	7	9	51	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成田ビューホテル 東館 新耐震基準対応 ■ 浅草・成田 エレベーター、受変電設備更新 など
戦略投資	25	6	10	8	50	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浅草ビューホテル ロビーフロア改装 ■ 成田ビューホテル 客室改装 ■ 札幌ビューホテル大通公園 客室増室、レストラン改装 ■ 大阪ビューホテル本町開業 など
IT・一般等	6	5	2	2	16	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全社PC交換 ■ 厨房設備更新 など
合計	50	28	20	20	117	
EBITDA	23	30	32	37	123	

浅草ビューホテルの改装 旗艦ホテルを更に魅力的な空間に

「日本情緒をテーマとしたロビーフロアの改装」 ブランドイメージを高め、宿泊・料飲の売上の増進

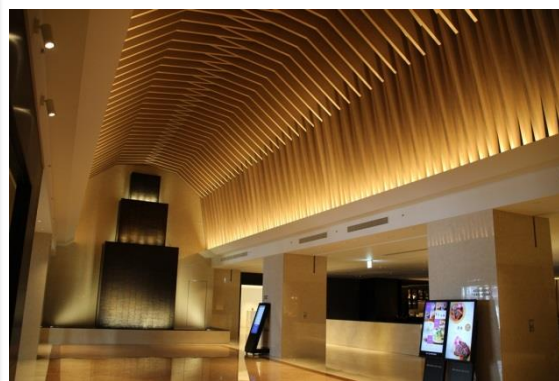
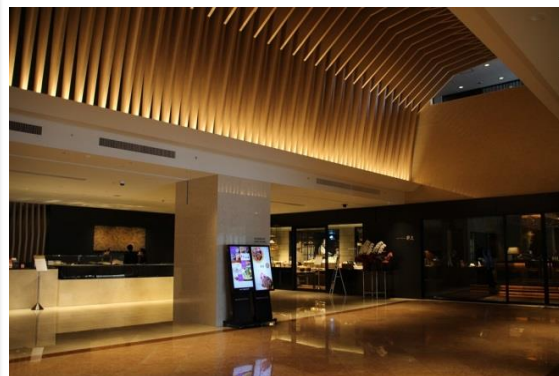
ロビー・フロント

- ・新生浅草ビューホテルのシンボルかつ、街(浅草)の象徴となりうるロビー空間
- ・デザインテーマ:【和モダン】 グローバルな和をスタイリッシュに表現し、ハイクラスな空間を演出

【カスケード(3段の滝)】



「浅草変わり格子」をまとった【ファーストロビー】



浅草旅情を感じさせる神輿庫を持つ【セカンドロビー】



■ レストラン 【 GRILL DINING 薪火 】

- ・「和」と「洋」の自然な共存をテーマに、スタイリッシュな大人の空間に改装し、バラエティ豊かな料理やドリンクをご提供
- ・FIRE PLACE ～ファイヤープレイス～ 本格薪釜で“魅せる&味せる”炎のエンターテインメントレストラン。

■ ラウンジ 【 THE LOUNGE 】

吹き抜けに通じる変わり格子を一部使用し、ロビーとの一体感を図った和モダンのスタイリッシュなラウンジ&バー

■ デリカ【 穂乃華 】

焼きたてブレッドや色とりどりのスイーツのほか、拡大する中食需要に対応し、多彩なお惣菜を取り揃えたパティスリー

【 GRILL DINING 薪火 】



《FIRE PLACE ～ファイヤープレイス～》



【 THE LOUNGE 】



【 穂乃華 】



コンセプト～ **都市型観光ホテル**

- 1st Tier : 東京、大阪、札幌、名古屋、京都、福岡
- 2nd Tier : 横浜、神戸、金沢、広島
- リゾート : 箱根など

出店エリア～

ターゲット(観光>ビジネス)

個人～団体、日本人～外国人まで幅広い観光客の取り込み

- 日本人観光客
- 訪日外国人観光客
- 各種団体・修学旅行
- ビジネス客



施設・部屋

日本人には癒しを、外国人には和を感じさせるモダンジャパニーズ

- 150室以上/1施設、平均20㎡以上
- ツインルーム主体、トリプル/フォースも設置
- 大浴場や庭園など、癒しと寛ぎの施設・空間

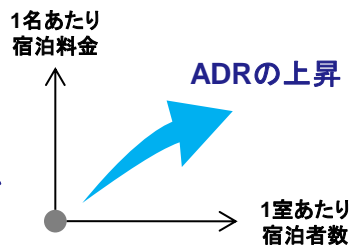


多面的に他ホテルとの差別化を図る

販売戦略

1室あたり宿泊者数を意識したレベニューマネジメント

- 本社営業部による団体獲得
 - リアルエージェントとのネットワーク・販売力
 - 自社サイト、OTAによるWEB集客
- 個人・団体×リアル・WEBの最適コントロール



サービス・クオリティ

“食のVIEW” & あたたかい“おもてなし”

- ハイクオリティな多彩で充実した朝食
- 五感で楽しみ、思い出に残る食事
- 立地等に合わせランチ、ディナーを営業
- 温かみと親しみのある心地良いサービス



国内をメインに年1～2店舗のペースで新規ホテル・旅館を開業し事業を拡大
直営ホテル・旅館数を現在の12施設から2027年4月期までに20施設へ

「札幌ビューホテル大通公園」の開業 <2017年5月3日オープン>

- ビューホテルズ北の大地初進出
- 札幌市大通公園に隣接したリゾート型シティホテル
- 中心繁華街「すすきの」に徒歩5分、JR札幌駅に車で5分
- 1Fロビーから14Fまで開放感のある吹き抜けアトリウム

改装内容

- ・ブッフェレストランを新設し、レストラン・バーを5ヶ所から2ヶ所に集約
- ・客室を61室増室



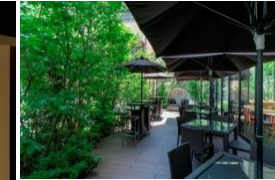
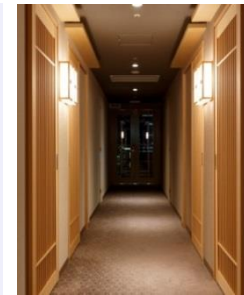
～ 新設された グリルブッフェ&レストラン・バー 【 オードリー 】 ～

～ 新設された【 客室 】一例 ～

「大阪ビューホテル本町」の開業 <2018年5月22日オープン>

■ ビューホテルズが大阪に初進出

- ・「和」をコンセプトに上品でモダンな雰囲気演出
- ・「食のVIEW」をコンセプトにした地域密着型の直営レストラン
- ・機能的な空間で、快適な居心地をご提供



～ 壺庭 ～



～ モデレートタイプルーム ～



～ プレミアムモダンジャパニーズルーム ～



～ レストラン Karakurenai ～



～ ロビー ～

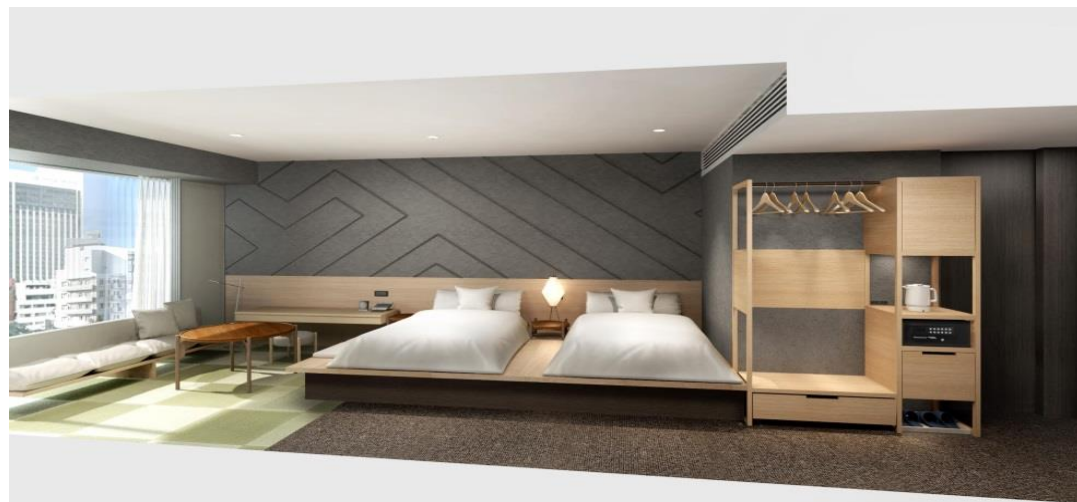


「浅草ビューホテル別邸(仮称)」 <2020年春オープン予定>

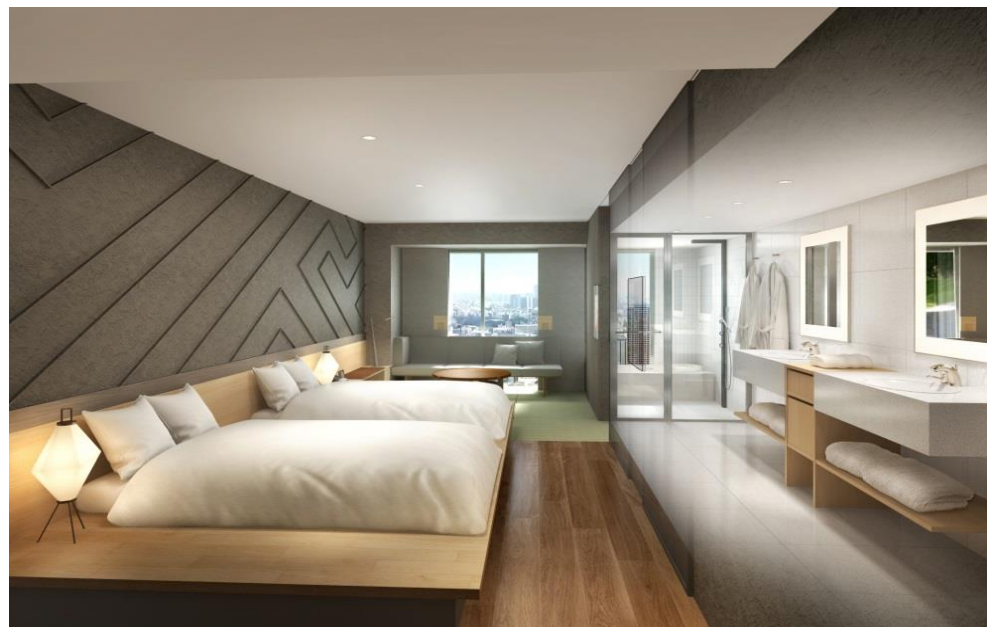
～ コンセプト ～

日本の伝統文化である“歌舞伎”を
コンセプトに加え、“和”を意識したホテルに

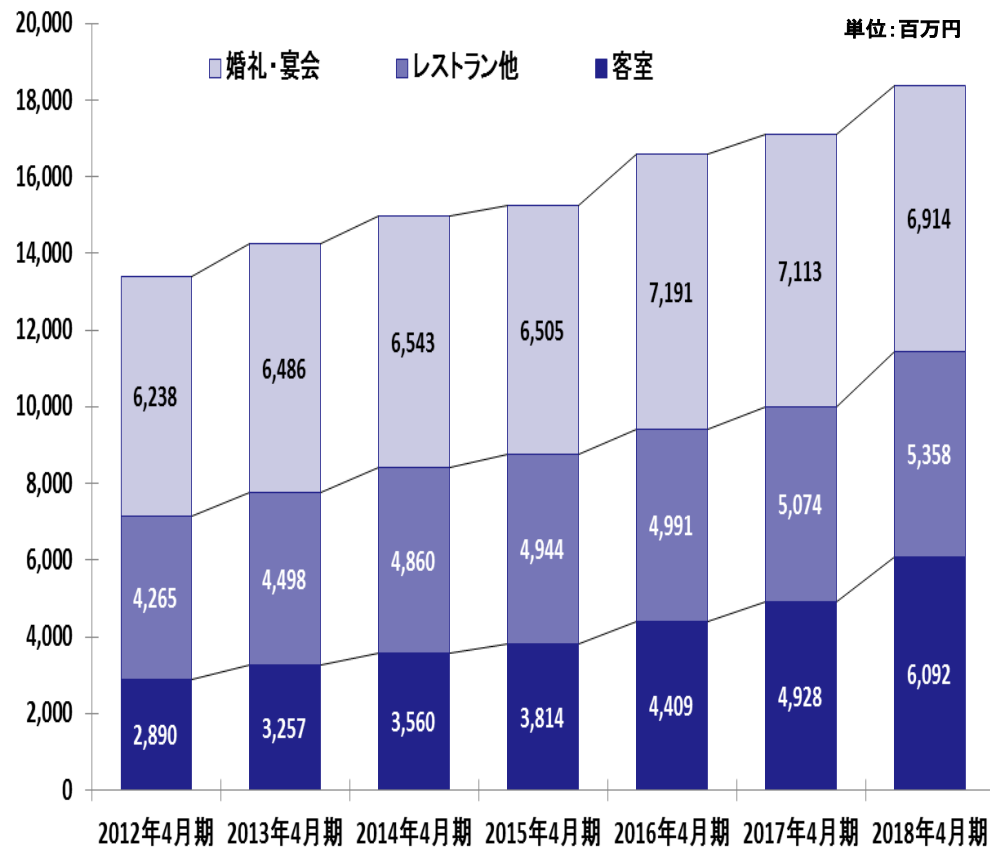
- 建物オーナーである松竹株式会社様の全面協力を
いただき、“歌舞伎”“和”を表現した観光旅館型の
ホテルとして、2020年春の開業を目指し、
正式契約に向けて協議中



～ 客室イメージパース ～

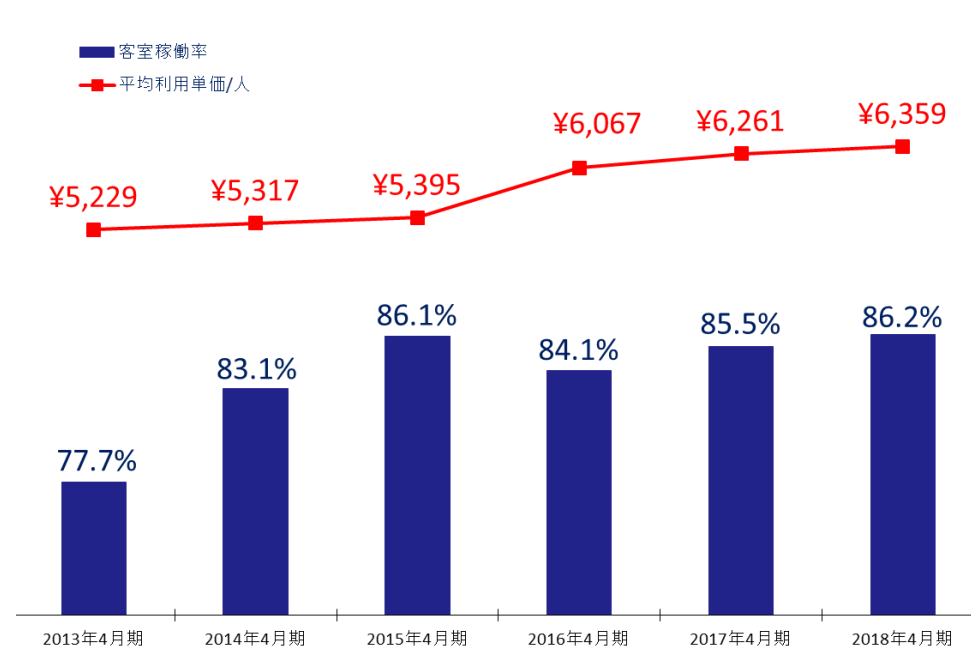


ホテル事業 部門別売上の推移



- 改装による既存ホテル業績の底上げと新規出店による拡大
- 客室部門を主とする売上の拡大(2012年4月期比+約32億円)
- レストラン他部門も新規レストランのオープンなどにより増収基調(2012年4月期比+約11億円)
- 婚礼・宴会部門では宴会は堅調に推移し、婚礼は高崎ビューホテルの営業終了や集客の伸びの鈍化が影響

ホテル事業 客室稼働率・利用単価

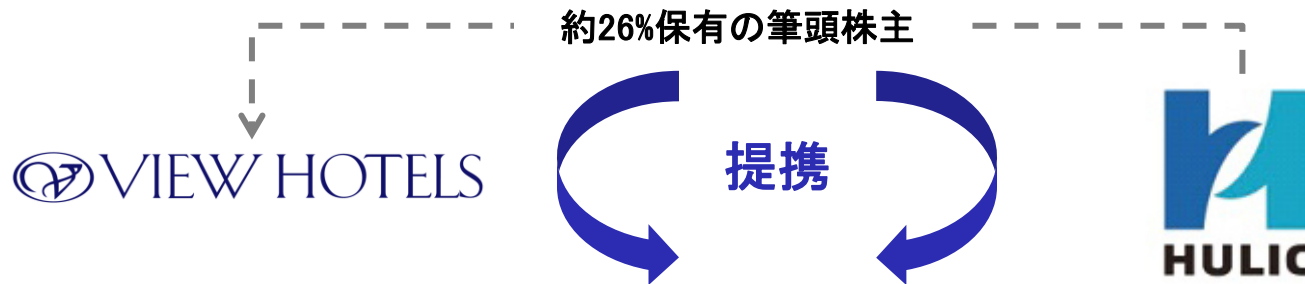


浅草ビューホテル、成田ビューホテル、秋田ビューホテル、高崎ビューホテル、伊良湖ビューホテル、両国ビューホテル、札幌ビューホテル 大通公園、ホテルビューパレス の合計

- レベニューマネジメントにより売上高の最大化を図り、高稼働を維持しながらも、利用単価上昇を継続
- ADRは2017/4期10,568円から2018/4期には11,177円に上昇

(注) ADR/1室当たりの売上金額

ヒューリック㈱との資本・業務提携によるホテル出店機会の増加期待、経営課題の解決



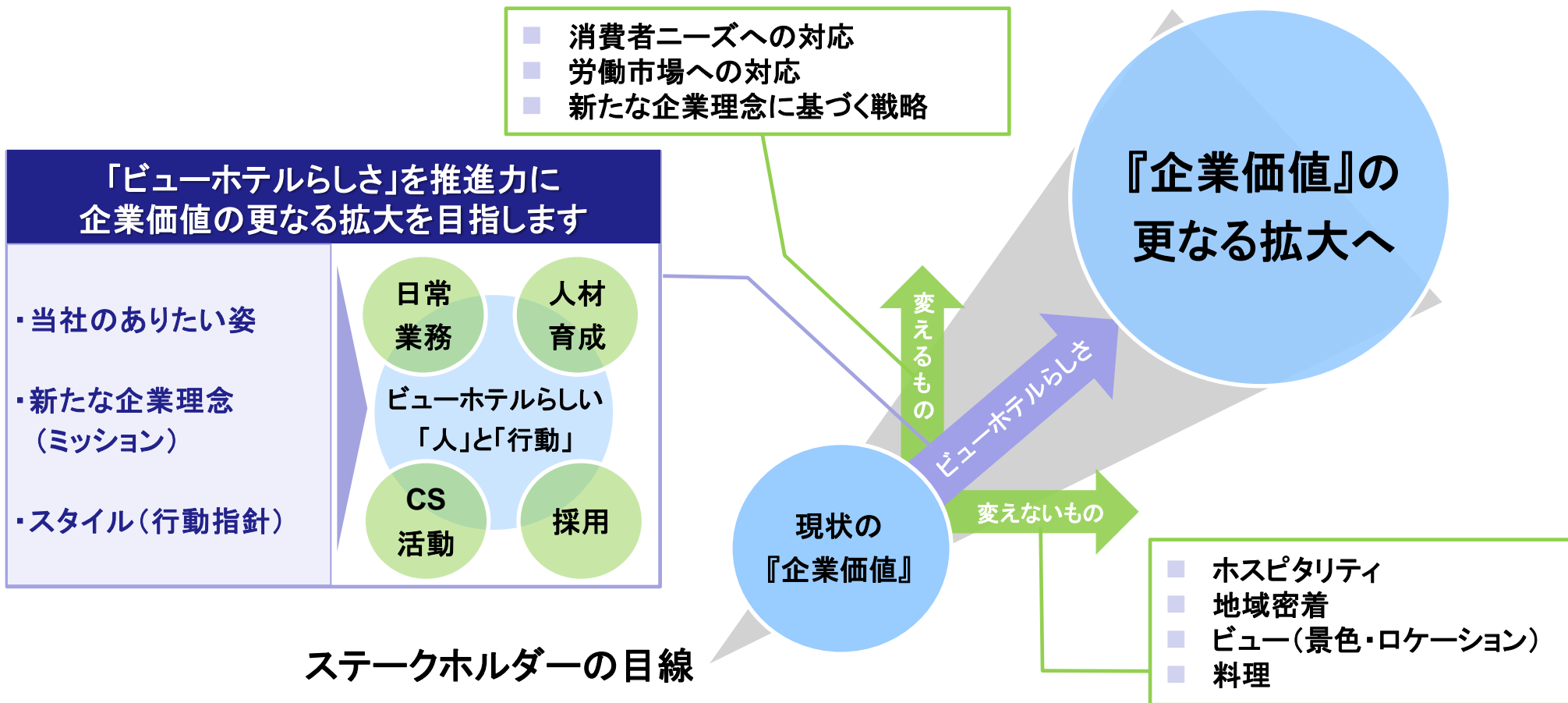
ヒューリック㈱との業務提携の項目

- 1 両社の取引先及び関係先のネットワークを活用した、ホテル、旅館等の宿泊施設の運営に関する知識・経験を通じた、浅草エリア等における営業協力
- 2 国内外の新規開発プロジェクトに関する情報共有
- 3 当該情報に基づく新規開発プロジェクトへの参画
- 4 ヒューリックから当社への施設の建替、改修工事等に関するアドバイス
- 5 当社が保有する遊休不動産の有効活用のための協働した開発事業
- 6 人材交流

4. 経営ビジョン ⑦ ビューホテルらしさ・・・企業価値の拡大へ

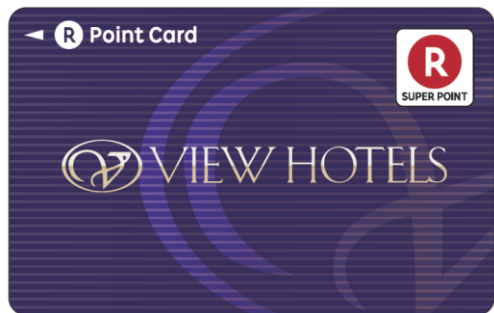
ビューホテルグループ ミッション

私たちは、地域や関わる人々とのつながりを大切にしながら、料理へのこだわりと親しみのあるあたたかいサービスによって心地よいホテルライフを提供し、社会に必要とされるホテルグループを目指します。



“ビューホテルらしさ”の追求 (ビューホテルグループミッションの浸透) = 「ブランド価値経営」

共通ポイントサービス「楽天ポイントカード」で楽天株式会社と提携



日本ビューホテルグループが運営するホテル、レジャー施設において、2017年4月より「楽天ポイントカード」が利用可能になりました。お客様は対象商品の購入時に「楽天ポイントカード」を提示すると楽天グループの各種サービスで利用できる「楽天スーパーポイント」が付与され、支払い時にも「楽天スーパーポイント」を利用することができます。

◆「楽天ポイントカード」が利用できるホテルは、当社が業界初

当社独自のポイントキャンペーンの実施

- ・ポイント2倍キャンペーン
- ・30万ポイントプレゼントキャンペーン など



楽天主催によるメディア露出の強化

- ・全国版TVCM
- ・インフォーマーシャル
 - ・E-Mail
 - ・DM
- ・モバイル通知
- ・Webページ
- ・SNS

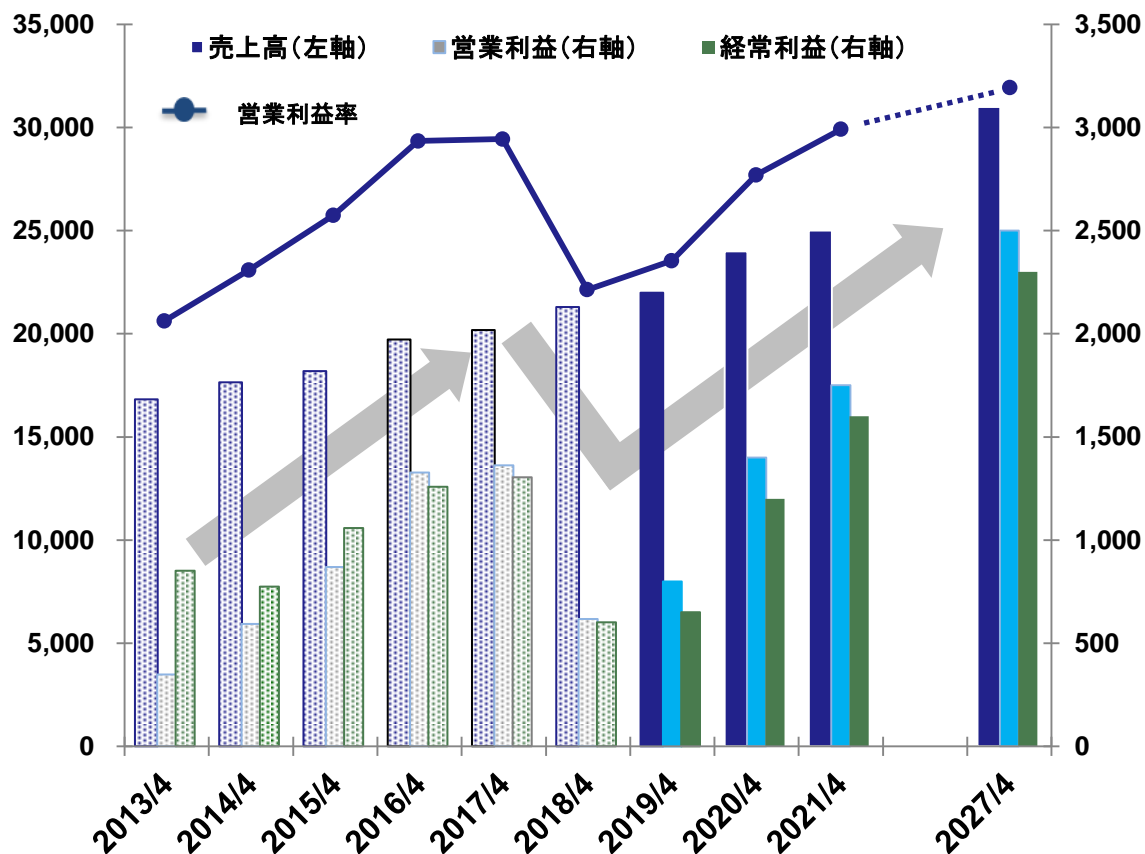


「楽天ポイントカード」主なパートナー企業(一例)



4. 経営ビジョン ⑨ 連結業績の計画

単位：百万円	第2次中期経営計画期間					長期目標 2027/4期
	実績	実績	目標値			
	2017/4期	2018/4期	※ 2019/4期	2020/4期	2021/4期	
売上高	20,179	21,294	22,000	24,000	25,000	31,000
営業利益	1,362	617	800	1,400	1,750	2,500
経常利益	1,304	601	650	1,200	1,600	2,300
営業利益率	6.8%	2.9%	3.6%	5.8%	7.0%	8.1%



連結業績計画(2019年4月期～2021年4月期)の概要

- **増収基調**
新規ホテルを順次開業。宿泊マーケットの拡大もあり増収基調を継続。
- **2018年4月期（前期）**
第2次中期経営計画に基づき、大規模な設備投資を集中的に実行したことなどにより、一時的に減益。
- **2019年4月期以降（当期以降）**
新規開業ホテルが業績に寄与、既存ホテルの改装効果もあり、増益基調で推移。
以降、長期持続的な成長サイクルへ。

※2019/4期は業績予想値を記載。
中計目標値は売上高23,000、営業利益1,200、
経常利益1,050、営業利益率5.2%

2019年4月期 第1四半期連結損益実績

単位:百万円	2018年4月期 第1四半期	2019年4月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	5,536	5,372	△ 163	△ 3.0 %
ホテル事業	4,696	4,622	△ 74	△ 1.6 %
施設運営事業	432	434	1	0.4 %
遊園地事業	429	337	△ 91	△ 21.4 %
調整額	△ 21	△ 21	0	— %
営業利益	341	105	△ 235	△ 69.0 %
ホテル事業	285	130	△ 155	△ 54.4 %
施設運営事業	6	9	3	64.1 %
遊園地事業	47	△ 36	△ 83	△ 176.1 %
調整額	1	1	△ 0	△ 1.7 %
減価償却前営業利益	698	499	△ 199	△ 28.5 %
ホテル事業	611	492	△ 119	△ 19.5 %
施設運営事業	11	15	4	37.6 %
遊園地事業	72	△ 11	△ 84	△ 115.6 %
調整額	1	1	△ 0	△ 1.7 %
経常利益	383	91	△ 292	△ 76.2 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	260	△ 4	△ 264	—
1株当たり四半期純利益 (円 銭)	27.60	△ 0.52	—	—

当第1四半期連結会計期間は減収、減益

■ ホテル事業

- ・5月に大阪ビューホテル本町が開業し、事業基盤を拡大
- ・札幌ビューホテル大通公園において、前期に行った客室61室の新設増室などがあり、客室部門は好調に推移
- ・前期の高崎ビューホテルの営業譲渡が婚礼・宴会の減収要因
- ・浅草ビューホテルの婚礼が前期後半からの集客の鈍化により苦戦
- ・前期に行った浅草ビューホテルや札幌ビューホテル大通公園のレストランリニューアル効果などにより、レストラン他部門は順調に推移
- ・大阪ビューホテルの開業経費を計上
- ・安定した労働力の確保のための採用を強化しており、人件費が増加

■ 施設運営事業

- ・リゾート施設において、団体の集客が伸び悩むも、インターネットでの宿泊プランを更に充実させ、個人の集客を強化
- ・ホテルプラザ菜の花において、営業体制の強化により、宴会が堅調に推移

■ 遊園地事業

- ・ビューホテル本社営業部の管轄・機能を拡大して集客力を強化
- ・社外コンサルタントを導入し、新アトラクションや新たな広告・PR手法を実施
- ・販売料金体系の見直しを行うなど、将来に向けた抜本的な利益体質への転嫁を図るための施策を実施

1 事業の概要

2 ホテルマーケットの魅力・成長性

3 日本ビューホテルの強み

4 経営ビジョン

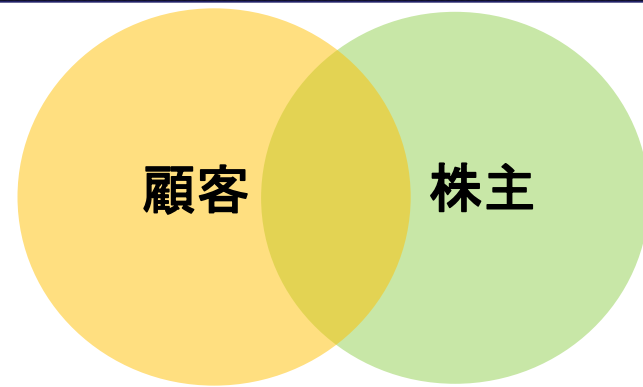
5 株主還元

5. 株主還元 ① 株価チャートと業績の推移 (イメージ図)

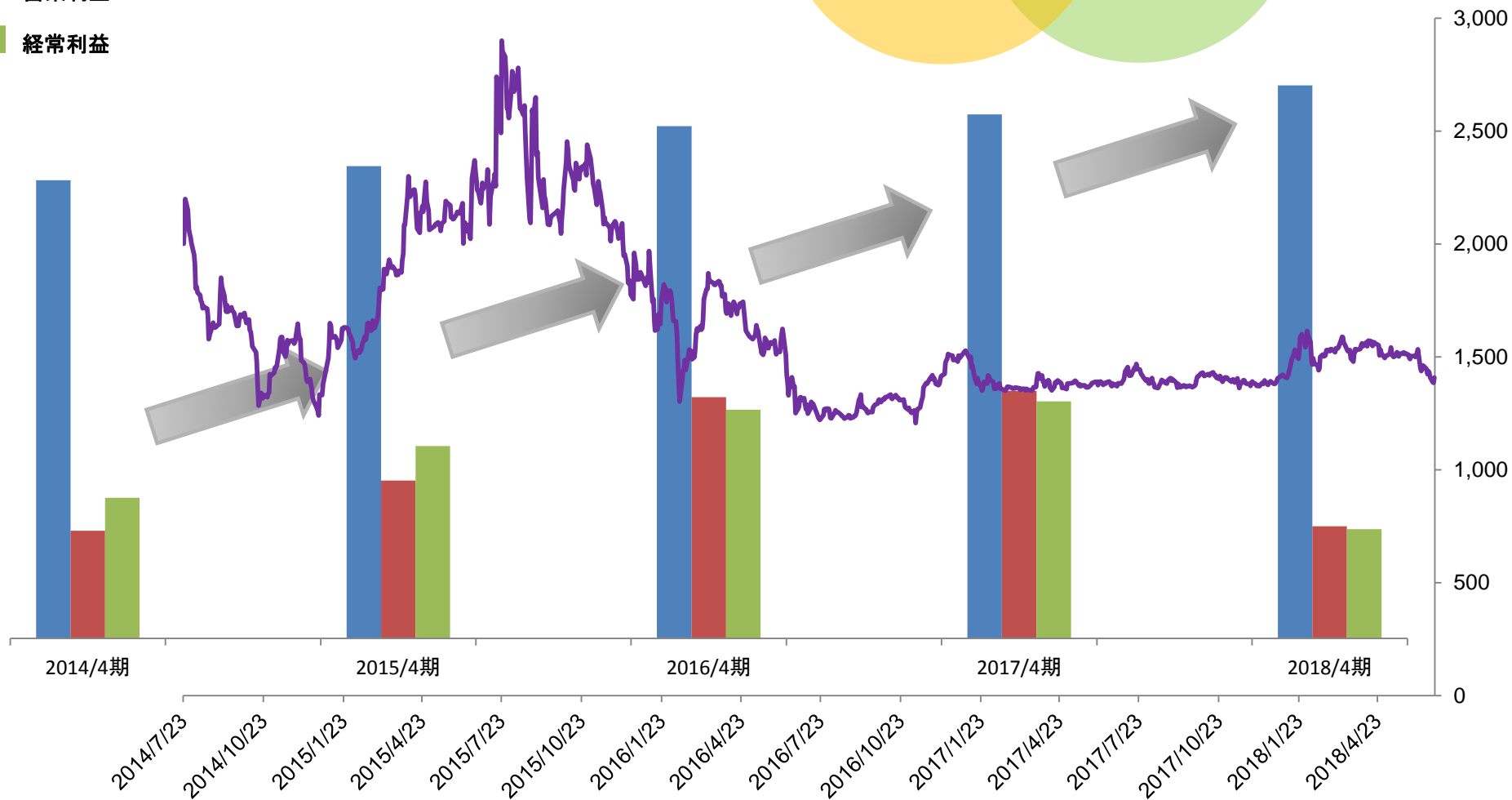
株価チャート / 業績の推移

- 売上高
- 営業利益
- 経常利益

— 終値



株価(円)



毎期の安定配当と持続的な企業価値の拡大によるトータルな株主還元

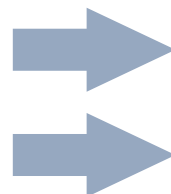
配当と成長戦略のバランス

株主還元

安定的な配当性向

成長投資

将来に亘る利益の拡大



トータルな株主還元の実現

直接的な利益還元

中長期的な株価上昇

配当性向は、成長戦略とのバランスを取りながら安定的に30%以上としていく方針

配当の推移

配当総額

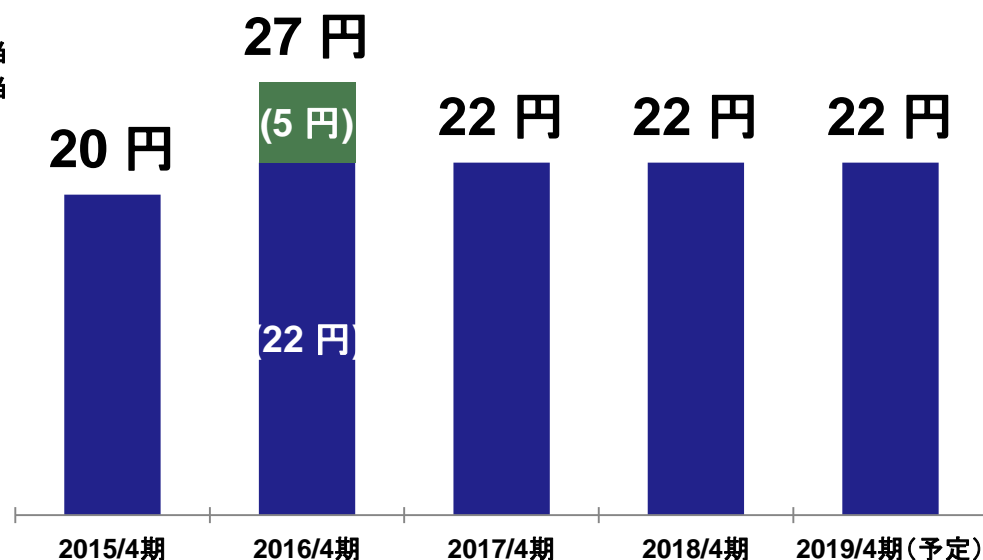
192百万円

261百万円

208百万円

207百万円

■ 記念配当
■ 普通配当



自己株式の取得……株主への一層の利益還元

取得期間	2017年1月13日～2017年7月31日
取得株式数 (2017年7月末累計)	297,600株
取得価格総額 (2017年7月末累計)	408,270,100円

株主優待制度のご案内

- 株主還元を目的として株主優待制度を導入
- ご利用に際しての制約を少なくし利便性を高めるため金額優待券を採用

対象となる株主様

毎年4月30日と10月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上を保有される株主様

優待対象施設と優待内容

保有株式数	優待内容
100株以上300株未満	500円優待券 4枚(2,000円相当)
300株以上500株未満	500円優待券 6枚(3,000円相当)
500株以上	500円優待券 10枚(5,000円相当)

有効期間及び贈呈時期

- 優待券の有効期間は6ヶ月間
- 毎年7月中旬と1月中旬に発送

優待対象施設

浅草ビューホテル、成田ビューホテル、
秋田ビューホテル、伊良湖ビューホテル、
両国ビューホテル、札幌ビューホテル大通公園、
大阪ビューホテル本町、ホテルビューパレス、
ぎょうけい館、ホテルプラザ菜の花、
ホテルグリーンパール那須、おきたま路
那須りんどう湖 LAKE VIEW

優待対象内容

宿泊、レストラン、宴会、婚礼

入園料、レストラン

更なる利便性の向上を図るため、有効期間の延長を実施（6ヶ月間→約1年間）

- ・2018年10月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上を保有される株主様を対象として贈呈する株主優待(平成31年1月発送分)から、有効期間を現在の6ヵ月間から約1年間に変更いたします。
- また、券面金額も現在の1枚500円から1枚1,000円に変更いたします。(ご優待金額の総額に変更はありません)

この資料は投資家の参考に資するため、日本ビューホテル株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、提出日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

この資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、この資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

表紙の写真・・・伊良湖ビューホテルの客室から望む「恋路が浜」

愛知県の渥美半島の先端に位置する「伊良湖ビューホテル」は、太平洋と伊勢湾、三河湾の碧い海に囲まれた絶景のリゾートホテルです。客室は朝日の見える太平洋側のお部屋と夕日の見える伊勢湾側のお部屋があり、小高い丘の上にある絶好のロケーションだからこそドラマチックな景観をお楽しみいただけます。

【恋路が浜】 ～島崎藤村の詩「椰子の実」～

ホテルから徒歩5分ほどの「恋路が浜」は数々の「日本の百選」(道・渚・白砂青松・音風景)に選ばれています。

その名の歴史は古く、江戸時代の1808年(文化5年)には和歌に歌われており、その昔、高貴な男女の恋の伝説があり、それが名前の由来だといわれています。

太平洋の荒波をうけて湾曲する、白く美しい砂浜であり、「♪名も知らぬ 遠き島より流れよる 椰子の実ひとつ♪」という島崎藤村の詩でも有名です。明治31年、恋路ヶ浜に逗留した民俗学者柳田國男が浜で椰子の実を拾い、その話を親友の島崎藤村に語ったことから「椰子の実」の詩が生まれ、昭和11年、この詩に大中寅二が曲をつけて国民歌謡となりました。1988年からこの詩を再現しようと、沖縄県の石垣島を「遠き島」に見立て、椰子の実を放流するイベントが続けられており、2001年に1個、2012年には3個が渥美半島の海岸に流れ着いています。

潮騒を聞きながら、波が打ち寄せる砂浜を歩けば、抒情詩「椰子の実」の世界を体感できるかもしれません。